

講演

鉄イオンが地球を救う

講師 無有産(ムーブ)研究所 代表 百姓 杉本幹生 氏
プロフィール

山口県宇部市生まれ。宇部市在住。百姓の傍ら山口大学非常勤講師もしている。使用済み使い捨てカイロ再生利用活動の発案者。「無」機物から「有」機物が「産」まれる生命の連鎖を研究していることから、無有産研究所を主催し代表を務めている。同研究所は地球温暖化等の様々な研究と開発を精力的に進めている。

講演会開催日時・場所

2012年 **6月16日** **土**

受付 16:00~

講演 16:30~

場所 ホテルクラウンパレス青森
1Fレストランックドール
青森市本町5-5-4 TEL 017-775-1151

会費 2000円

◆CO²削減市民会議
入会受付中

個人・団体・企業 他

年会費 一口 2000円

連絡先：CO²削減市民会議 事務局（阿部） TEL 017-741-4150 FAX 017-741-4150

海の森づくりにご参加を！！

「使用済・使い捨てカイロ」は
捨てないで
収集にご協力を
お願いします。



海の森づくり

今、日本の海は砂漠化が進んで海の生物多様性が失われています。原因の一つとして森林の荒廃が考えられております。森林の腐植土でつくられる鉄分が海に流れて海藻や植物性プランクトンを育て、生物の多様な海をつくる自然の仕組みが壊れているようなのです。

使い捨てカイロの成分である鉄と炭素を活用して、海に鉄分を増せることがわかりました。海に鉄分を増やして、海藻の繁茂する海の森をつくと海産物が増えるほかに、海の森はCO²を吸収するので地球の温暖化防止にも役立つのです。

“海の森づくりにご協力をお願いします”

砂漠化した海底



↓ 鉄ダンゴ散布 ↓



再生した海の森

鉄炭ダンゴが海の砂漠(磯焼け)化を防ぐ

使用済みカイロは鉄と炭が密着した黒い粒子。クエン酸を配合してダンゴをつくり海に入ると鉄イオンが発生します。ホンダワラなどの海藻類が鉄イオンを取り込んで成長することで海の森が再生されます。そして、植物性プランクトンを増やし、食物連鎖が活性化し海を豊かに変えるのです。河川のヘドロを浄化する働きもします。

CO² 削減市民会議 会長 一戸ふみお
連絡先 090-6255-5579